一般社団法人日本母性看護学会

2023 年度　社員総会　資料

＜報告事項＞

報告事項 1　　2022 年度事業報告
報告事項 2　　2023 年度事業計画案
報告事項 3　　2023 年度予算案
報告事項 4　　2023-2026 年度評議員選出結果
報告事項 5　　名誉会員について
報告事項 6　　第 27 回学術集会会長について

＜決議事項＞

第 1 号議案　　2022 年度収支決算・監査報告
第 2 号議案　　2023-2024 年度役員の承認

報告事項１　　2022 年度事業報告

1. 総務委員会／総務

1）日本母性看護学会総会の開催

・2022 年度一般社団法人日本母性看護学会総会を非参集型の「書面表決による総会」とし、2022 年 6 月 24 日（金）に開催した。

2）理事会の開催

・通常理事会 4 回（Zoom）、書面理事会を 4 回開催した。

3）会員管理

・会員数は 2023 年 3 月末で、750 名、2022 年度入会者 86 名、退会者 79 名だった。

・利益相反自己申告書の提出はなかった。

4）学会に関連する事務業務

・看護系学会等社会保険連合、日本看護系学会協議会、助産師団体連絡会等、関連団体への対応を行った。

・健やか親子 21 推進本部入会手続きの準備を行った。

5）評議員意見交換会の開催

・2022 年 6 月 18 日（土）に開催し，社員総会議案に関する報告・説明、質疑応答および各種話題提供（①地域における高度実践看護プロジェクトについて、②高度実践看護師制度に関する関係団体の動向と本学会の活動について、③学術論文賞規程および細則の改定について、④動画による投稿者の支援について）を行い、評議員と意見交換を行った。

6）評議員選挙、理事選挙の実施

7）2023 年度事業計画（案）作成

2. 総務委員会／会計

1）会費管理、入金・支出管理

・事務局より会費入金状況の確認・徴収の報告を受けた。

・支出について、振込依頼を承認し適正な支出であることを確認した。

2）2022 年度決算

・事務局に委託し、法人に必要な会計書類を作成し、決算書を作成した。

・決算書については税理士、および監事の監査を受けた。

3）本学会収支状況からみた 2023 年度の運用について

・本学会収支状況資料と運用案を作成した。

4）2023 年度予算（案）作成

・各分掌理事の計画を取りまとめ、予算案を作成した。

3. 総務委員会／災害対応部会

・災害関連の情報を収集するとともに、看護系学会協議会災害活動員会からの情報は、事務局を通じて理事・監事へ提供を行った。

・母性看護学会での独自の災害支援について検討したが、迅速な災害に関する情報提供（会員）の要望が出され、HP を通し実施することになった。2022 年度は実績なし。

・2023 年度-一般社団法人日本母性看護学会　大規模災害支援者支援事業-
発災時支援に入る看護研究者・実践者に対する支援を実施することが審議され、決定した。

・募集要項、申請書（案）を作成したが、修正があり次年度に持ち越すことになった。

4. 総務委員会／将来構想部会

1）日本学術会議協力学術研究団体の指定申請に向けた準備

・会員登録情報の項目変更を行った。

・メーリングリスト・ニュースレターを通じて会員に登録情報の更新を依頼した。

・申請要件を未充足のため、2023 年度に事業を継続する。

2）「地域における高度実践看護プロジェクト」活動の実施

・第 63 回日本母性衛生学会にて交流集会「産後メンタルヘルスケアのグッドプラクティスを探そう」を企画・運営した。参加者は 68 名であった。

・プロジェクト研究「産後のメンタルヘルスケアにおける高度看護実践の探究」（2 か年計画）を実施している。

・現在はデータ収集と分析を行っており、2023 年度に継続する。

3）2023 年度事業計画（案）作成

5. 編集委員会

1）機関誌の編集・発刊

・日本母性看護学会誌第 23 巻 1 号を 2022 年 10 月末日に、第 23 巻 2 号を 2023 年 3 月末日に発刊した。

2）編集委員会の開催

・編集委員会を Zoom にて概ね月 1 回定期開催した。

3）投稿規定と査読ガイドラインの見直し

・投稿規定：引用文献の DOI の記載方法等の修正

・日本母性看護学会誌査読ガイドラインの修正し、2023 年度版を作成

4）2023 年度事業計画（案）作成

6. 広報委員会

会員内外に向けた広報活動

1）ホームページの充実発信する情報の充実

・ホームページを合計 20 回更新した。
・母性看護専門看護師紹介ページ開設のサポート

2）ニュースレターによる情報の発信
・ニュースレター23 号の企画・編集・発行
（2022 年指定規則の改正に伴う助産師教育について、CNS 活動の実際、学術集会報告と次回案内など）

3）全会員への、各委員会から直接メールの配信システム支援
総務委員会 1 通、総務委員会将来構想部会 1 通、学術支援委員会 1 通、看護政策検討委員会 1 通、生涯学習支援委員会 2 通

4）全会員へ広報委員会が取りまとめた記事の定期配信を開始
・年間 4 回の日本学術会議他有益情報の配信(5.8.11.2 月)

5）第 24 回日本母性看護学会学術集会ナーシングサイエンスカフェにおける広報
・オンライン開催であったため、実施せず。

6）2023 年度事業計画（案）作成

7. 研究促進委員会

1）研究助成に関する情報提供
・ホームページを通して、会員が申請できる助成金等の情報を更新のための確認を行った。（2022 年度内は更新なし）

2）日本母性看護学会研究助成
・2023 年度研究助成応募促進
2023 年 1 月 20～2 月 5 日の 16 日間オンデマンドにて研究支援ミニワークショップの動画*を配信した。（＊：2022 年 2 月 5 日開催：「研究助成応募にチャレンジ！―申請書の書き方の疑問を解決しよう―」の編集動画）
視聴者数 8 名　再生回数 20 回　（アンケート回答者 4 名）
視聴者内訳：教員：3 名、臨床看護師・助産師：1 名
研究助成申請書作成に向けた質問・疑問は 0 件であった。
・2023 年度研究助成の応募要領の作成ならびに公募を実施した。
・本制度を会員に周知するため、応募要領を会員に配布するとともに、ホームページに公募の案内を掲載した。
・2023 年度研究助成に対して 2 件の応募があり、選考委員会を発足して選考し、2 件を採択した。
・2021 年度（研究助成延長者）および 2022 年度研究助成会計監査

3）2023 年度事業計画（案）作成

8. 学術支援委員会

1）学術集会の企画・運営支援

・第 24 回および第 25 回の学術集会の企画・運営支援を行った。

2）セミナーの企画・運営

・第 16 回日本母性看護学会セミナー「概念分析を学ぼう」を以下の内容で Zoom により開催した。登録参加者は会員 78 名、非会員 10 名、合計 89 名であった。オンデマンド視聴者は延べ 74 名だった（2022 年 11 月 11 日～30 日まで学会ホームページで会員へ公開）。

日時：2022 年 10 月 29 日（土）13：00～15：30

講師：飯岡　由紀子氏（埼玉県立大学大学院保健医療福祉学研究科）

「概念分析の発展と Rodgers の概念分析」

跡上　富美氏（久留米大学医学部看護学科）

「Walker & Arvant の概念分析」

・アンケート回答者は 43 名で、今後の教育・研究・実践に「とても役立ちそう」「役立ちそう」を負わせて 90.7%だった。

3）学術論文賞の選考

・理事による推薦、選考委員会による審査を経て、第 16 回学術論文賞を 1 論文選考した。

学術論文賞受賞論文：中期中絶を受ける女性へのケアで助産師に生じる葛藤と折り合い

（斎藤未希、大月恵理子、兼宗美幸）

当該年度は書面総会となったため、表彰式は行わず表彰状と記念品を郵送し、受賞者からのコメントをホームページで掲載した。

4）2023 年度事業計画（案）作成

9. 生涯学習支援委員会

1）CTG セミナー実施

1 回目：2022 年 6 月 11 日（土）オンライン開催　参加者 74 名

2 回目：2023 年 3 月 26 日（日）対面開催(兵庫県立大学)　参加者 12 名

それぞれ、参加者にアドバンス助産師の研修修了書を授与した。

2）WHC セミナー

APN 委員会と合同開催

3）GDM セミナー開催

「糖代謝異常妊産褥婦への看護支援セミナー」として開催。参加者は、会員 7 名 52,500 円、非会員 13 名 195,000 円の 20 名 247,500 円。90 分×5 コマ分の講義を録画し You Tube に掲載、視聴後、ZOOM でのフリーディスカッション参加まで至った人は 22 人。You Tube 掲載でフリーに視聴可能とするとなかなか最後まで視聴が完了しない状況であった。満足度は高かった。⇒次年度への課題として、GDM 関連の情報の更新に合わせ、内容を整理し、もう少しコンパクトな開催にすることを検討していく。

4）2023 年度事業計画（案）作成

10. 看護政策検討委員会

1. 看護系学会等社会保険連合（看保連）に関わる活動
   1）総会、看護技術検討委員会、あり方検討委員会への看保連委員として出席した。
   2）情報交換会への看保連委員として出席した。
2. 診療報酬改定要望書の提案に関わる活動
   1）診療報酬に関連した意見調査の実施
   ・2022 年 12 月 20 日～2023 年 2 月 8 日、JSMN 会員を対象とした「診療報酬に関連した意見調査」をオンラインにて実施し、4 9 名から回答があった。診療報酬に関わる医療行為の内容は多岐にわたったが、診療報酬を請求出来た回数は少ないことが明らかとなった。
   2）R6（2024）年診療報酬改定に向けた日本助産学会との共同要望の提出「C101-3 在宅妊娠糖尿病患者指導管理料」の算定対象の拡大に向け、意見交換を行った。
3. 上記活動に関する委員会を 4 回開催した。

11. 高度実践看護推進委員会

1. 母性看護 CNS の広報および役割認知の拡大に関する以下の活動を行った。
   1）HP 母性看護 CNS ページの管理
   2）学術集会での広報（学会発表）
   （1）日本母性看護学会：CNS 調査結果の演題発表を行った（本学会誌に投稿予定）
   （2）日本看護管理学会：CNS 調査結果の演題発表を行った（本学会誌に投稿予定）
   （3）母性衛生学会　交流集会への協力を行った。
2. 母性看護 CNS の活動支援・推進に関する以下の活動を行った。
   1）交流/情報交換/ネットワーク構築
   （1）母性 CNS 間、母性 CNS と教育/研究機関所属会員間
   （2）TSUMUGU 会の開催（年 2 回）
   （3）母性看護 CNS ML の運営
   登録者 106 名（2023 年 3 月現在）
   2）学会活動における CNS の役割推進（CNS の実践活動・研究活動支援）
   （1）母性看護 CNS の実践活動を可視化するための研究に向けた準備を行った
   （研究メンバーほか研究体制構築、研究計画の立案、倫理申請）
   （2）学会主催セミナーへの母性看護 CNS の協力支援
   母性看護 CNS による GDM セミナー、WHC セミナー、CTG セミナー
3. 関係団体との協働・情報交換(JNA,JANA、JANPU、CNS 協議会)
   1）会議・情報交換会への参加、質問紙調査、面接調査への協力・意見交換を行った
4. 母性看護領域の高度実践看護師制度のあり方に関する検討

1）ワーキングチームを立ち上げ、2022 年 9 月～2023 年 3 月まで 6 回の会議を開催。

2）母性看護領域における APN グランドデザイン(案)を検討し、報告書を作成した。

3）母性看護 CNS の competence の検討を行った

5. 2023 年度事業計画案/予算案を作成した

報告事項２　　2023 年度事業計画案

1. 総務委員会／総務

1）2023 年度一般社団法人日本母性看護学会総会の開催

2）理事会の開催　　通常理事会　　４回

　　書面理事会　　適宜開催

3）会員管理・会員サービス・学会案内（外部委託）

4）学会に関連する事務業務

　委託業者との調整、学会に関連する書類への対応、他団体への対応

5）定款、規程、細則等の整備

6）2024 年度事業計画（案）作成

2. 総務委員会／会計

1）会費管理　入金・支出管理

2）2023 年度決算

3）2024 年度予算案の作成

4）年会費の検討

5）経費運用の検討

6）2024 年度事業計画（案）作成

3. 総務委員会／災害対応部会

1）JANA 災害看護学会連携強化をはかる。

2）JANA の災害関連情報を会員に提供する

3）-一般社団法人日本母性看護学会　大規模災害支援者支援事業

4）2024 年度事業計画（案）作成

4. 総務委員会／将来構想部会

1）日本学術会議の協力学術研究団体としての指定申請の実施

会員登録の確認と修正に関する会員への周知（年度初め）

協力学術研究団体の申込

2）地域における高度実践看護プロジェクト活動

「産後のメンタルヘルスケアにおける高度看護実践の探究」の継続

・産後メンタルヘルスケアのグッドプラクティスのコアの抽出

・研究成果の公表・活用方法の検討

3）2024 年度事業計画（案）作成

5. 編集委員会

1）日本母性看護学会誌の編集・発刊（年 2 回）

第 24 巻第 1 号 2 号発刊（2023 年 9 月，2024 年 3 月発刊予定）

2）編集委員会：月 1 回オンライン開催

3）2024 年度事業計画（案）作成

6. 広報委員会

会員内外に向けた広報活動

1）ホームページの充実、発信する情報の充実

2）ニュースレターによる情報の発信

ニュースレター24 号の企画・編集・発行

3）会員向け定期メールの配信(2.5.8.11 月)

4）第 25 回日本母性看護学会学術集会における広報

5）2024 年度事業計画（案）作成

7. 研究促進委員会

1）研究助成に関する情報提供

年 2 回、学会ホームページを通じて会員が申請できる助成金などの情報の更新

2）日本母性看護学会研究助成

（1）2022 年度研究助成会計監査

（2）2024 年度研究助成の応募要領の作成・公募の実施

（3）研究支援ワークショップ

（4）制度について会員への広報

（応募要領の会員への送付及びホームページへの掲載）

3）2024 年度事業計画（案）作成

8. 学術支援委員会

1）学術集会の企画・運営支援

第 25 回学術集会長：坂上明子氏（武蔵野大学看護学部）

第 26 回学術集会長：工藤美子氏（兵庫県立大学看護学部）

2）セミナーの企画・運営

第 17 回セミナーの開催

3）第 17 回学術論文賞の選考

4）2024 年度事業計画（案）作成

9. 生涯学習支援委員会

1）CTG セミナーの開催（2023 年 12 月頃）

2）糖代謝異常妊産褥婦を支援する看護セミナーの開催（オンライン開催、2023 年 12 月～2024 年 1 月）
3）WHC セミナーの開催（APN 委員会と日程調整）
4）各セミナー担当者会議　3 回（オンライン）
5）CTG 部会メンバー2023 年 7 月 11 日 7 月に開催される周産期新生児学会（大会長 三重大学池田教授, 名古屋国際会議場)の支援
6）2024 年度事業計画（案）作成

10. 看護政策検討委員会

1. 看護系学会等社会保険連合（看保連）に関わる活動
   1）総会、看護技術検討委員会、あり方検討委員会への看保連委員としての出席
   2）情報交換会への看保連委員としての出席
2. 診療報酬改定要望書の提案に関わる活動
   1）R6（2024）年診療報酬改定に向けた日本助産学会との共同要望の提出「C101-3 在宅妊娠糖尿病患者指導管理料」の算定対象の拡大に向けたデータ収集
   2）R8（2026）年度診療報酬改定に向けた要望事項に関する情報収集（新規提案事項に関する探索）
   (1) 2023 年度調査結果から、要望事項として整理し、優先順位をつけて、2024 年度計画に反映
   (2)「助産師外来で妊娠初診時包括アセスメントから始める切れ目のないケア方略の実装研究」調査結果の活用
   3）上記活動に関する委員会の開催（年 4 回、ZOOM）
3. 2024 年度事業計画（案）作成

11. 高度実践看護推進委員会

1. 母性看護 CNS の役割認知の拡大
   1）NL、雑誌・出版物への寄稿
   2）HP 母性看護 CNS ページの充実
   3）学会 HP に母性看護 CNS 調査（2021 年度）結果の概要を掲載
2. 母性看護 CNS の活動推進
   1）交流/情報交換/ネットワーク構築
   (1) TSUMUGU 会の運営（8 月・2 月）
   (2) ML の運営と登録者の増加
   2）学会活動における CNS の役割推進
   学会主催セミナー、TSUMUGU 会への母性看護 CNS の協力の呼びかけ
3. 関係団体との協働・情報交換(JNA,JANA、JANPU、CNS 協議会)
   1）会議・情報交換会に参加し、意見交換

2）CNS 協議会母性看護分科会担当者との協議（相互理解と役割・関係の整理）

4．研究

1）2021 年度母性 CNS 調査の論文を日本母性看護学会誌（2023 年度）へ投稿

5．委員会活動の運営と組織化

1）委員会組織の再編

2）中・長期計画の策定

6．2024 年度事業計画（案）作成

12．利益相反委員会

1）利益相反申告書に疑義が生じた場合の調査および答申を行う。

報告事項3　2023年度予算案

単位（円）

科　目	【参考】2022年度予算	【参考】2022年度決算	2023年度予算（案）
収入の部			
会費収入	**6,044,000**	**6,194,000**	**6,168,000**
当年度会費	5,576,000	5,784,000	5,648,000
過年度会費	328,000	240,000	360,000
入会金	140,000	170,000	160,000
事業収入	**7,465,000**	**10,879,512**	**8,265,000**
学術集会収入	6,050,000	9,711,012	7,640,000
CTGセミナー	500,000	824,000	200,000
GDMセミナー	600,000	247,500	225,000
WHCセミナー	155,000	0	80,000
学術支援セミナー	20,000	33,000	60,000
TSUMUGU会	140,000	64,000	60,000
雑収入	**4,500**	**113,262**	**4,500**
受取利息	500	32	500
雑収入	0	99,614	0
抄録利用料	4,000	13,616	4,000
収入の部　合計（1）	**13,513,500**	**17,186,774**	**14,437,500**
前年度繰越金（2）	33,944,396	33,944,396	39,251,283
合　計（1）＋（2）＝（3）	**47,457,896**	**51,131,170**	**53,688,783**

科　目	【参考】2022年度予算	【参考】2022年度決算	2023年度予算（案）
支出の部			
事業費支出			
編集委員会	933,000	707,566	940,000
広報委員会	160,000	143,330	160,000
研究促進委員会	609,692	317,114	599,270
学術支援委員会	291,000	184,465	296,000
生涯学習支援委員会	1,120,000	382,267	558,000
[CTGセミナー]	370,000	162,750	240,000
[GDMセミナー]	600,000	219,517	218,000
[WHCセミナー]	150,000	0	100,000
看護政策検討委員会	10,400	0	10,400
高度実践看護推進委員会	280,556	203,229	238,056
総務委員会	220,000	145,113	450,000
[災害対応部会]	10,000	0	260,000
[将来構想部会]	210,000	145,113	190,000
利益相反委員会	22,500	24,750	25,000
学術集会	6,550,000	6,396,849	7,596,853
事業費支出　合計	**10,197,148**	**8,504,683**	**10,873,579**
管理費支出			
総務・渉外・会計	4,330,000	3,375,204	4,470,000
管理費支出　合計	**4,330,000**	**3,375,204**	**4,470,000**
周年記念事業積み立て	150,000	（決算科目としては不使用）	150,000
予備費	500,000	（決算科目としては不使用）	500,000
支出の部　合計（4）	**15,177,148**	**11,879,887**	**15,993,579**
当期収支差額（1）−（4）＝（5）	−1,663,648	5,306,887	−1,556,079
次期繰越差額（3）−（4）＝（6）	**32,280,748**	**39,251,283**	**37,695,204**

報告事項４　　2023-2026年度評議員選出結果

（地区順/五十音順）

地区	氏名	所属先名
北海道・東北	菊地　圭子	山形県立保健医療大学
北海道・東北	中村　康香	東北大学大学院
北海道・東北	福島　裕子	岩手県立大学
北海道・東北	正岡　経子	札幌医科大学
北海道・東北	吉沢　豊予子	東北大学大学院
関東	新井　陽子	群馬大学大学院
関東	石井　邦子	千葉県立保健医療大学
関東	岩田　裕子	筑波大学
関東	大月　恵理子	順天堂大学
関東	岡山　久代	筑波大学
関東	香取　洋子	北里大学
関東	兼宗　美幸	埼玉県立大学
関東	北川　良子	千葉県立保健医療大学
関東	坂上　明子	武蔵野大学
関東	島袋　香子	北里大学
関東	髙橋　真理	文京学院大学
関東	長坂　桂子	西武文理大学
関東	成田　伸	自治医科大学
関東	林　ひろみ	東邦大学
関東	福井　トシ子	公益社団法人日本看護協会
関東	前原　邦江	千葉大学大学院
関東	村井　文江	常磐大学
関東	森　恵美	千葉大学大学院
関東	森田　亜希子	順天堂大学
中部	工藤　里香	富山県立大学
中部	小林　康江	山梨大学大学院
中部	定方　美恵子	新潟薬科大学
中部	関島　香代子	新潟大学
中部	長谷川　ともみ	富山大学
中部	古川　亮子	長野県看護大学
中部	松井　弘美	富山県立大学

中部	吉森　容子	新潟県済生会三条病院
中部	米田　昌代	石川県立看護大学
近畿	遠藤　俊子	関西国際大学
近畿	工藤　美子	兵庫県立大学
近畿	齋藤　いずみ	神戸大学大学院
近畿	佐々木　綾子	大阪医科薬科大学
近畿	竹　明美	大阪医科薬科大学
近畿	立岡　弓子	滋賀医科大学
近畿	常田　裕子	京都大学大学院
近畿	中井　愛	滋賀医科大学医学部附属病院
近畿	中嶋　有加里	大阪公立大学大学院
近畿	能町　しのぶ	兵庫県立大学
近畿	服部　律子	神戸女子大学
近畿	松原　まなみ	関西国際大学
近畿	山田　加奈子	大阪公立大学大学院
近畿	渡邊　香織	大阪公立大学大学院
中国・四国・九州	跡上　富美	久留米大学
中国・四国・九州	井上　千晶	島根県立大学
中国・四国・九州	井上　尚美	鹿児島大学
中国・四国・九州	大平　光子	周南公立大学
中国・四国・九州	北村　万由美	広島国際大学
中国・四国・九州	佐々木　くみ子	鳥取大学
中国・四国・九州	鈴木　康江	鳥取大学
中国・四国・九州	桃井　雅子	聖マリア学院大学
中国・四国・九州	渡邊　聡子	高知県立大学

（56 名）

※所属先は選出時点のもの

報告事項５　　名誉会員について

名誉会員選考規程に則り理事会にて選考の結果、以下の 1 名を本学会の名誉会員に推戴いたしましたのでご報告いたします。

山本あい子氏

報告事項 6　　第 27 回学術集会会長について

第 27 回学術集会会長は以下のとおり決定いたしましたのでご報告いたします。

大月恵理子氏（順天堂大学）

第1号議案　2022年度収支決算・監査報告

貸借対照表

2023年3月31日現在

単位(円)

科　目	金　額			備　考
1 資産の部				
流動資産				
(現金・預金)				
現金	0			
会計	0			
CTG	0			
当座預金	37,309,905			
郵便振替（法人口座）	37,309,905			
普通預金	4,004,964			
ゆうちょ銀行（会計）	569,142			
ゆうちょ銀行（CTG）	3,435,822			
現金・預金　計		41,314,869		
(その他流動資産)				
前払金	500,000			学術集会準備金
未収入金	0			
仮払金	0			
その他流動資産　計		500,000		
流動資産　合計		41,814,869		
固定資産				
(特定資産)				
周年記念事業積立金	600,000			郵便振替口座にて管理
固定資産　合計		600,000		
資産の部　合計			42,414,869	
2 負債の部				
流動負債				
未払金	562,779			委託費期末精算・学会誌23-2制作費
前受金	2,577,000			前受年会費
預り金	23,807			源泉税
仮受金	0			
流動負債　合計		3,163,586		
負債の部　合計			3,163,586	
3 正味財産の部				
正味財産		39,251,283		
(うち、特定資産への充当額)		(600,000)		
(当期正味財産増減額)		(5,306,887)		
負債及び正味財産の部　合計			42,414,869	

2022年度正味財産増減計算書（予算対比）

2022年4月1日から2023年3月31日まで

単位（円）

科　目	2022年度予算	2022年度決算	差額（予算-決算）	備考
1.経常収益				
会費収入	**6,044,000**	**6,194,000**	**-150,000**	
当年度会費	5,576,000	5,784,000	-208,000	納入率89%
過年度会費	328,000	240,000	88,000	前年度以前の会費回収分
入会金	140,000	170,000	-30,000	85名分
事業収入	**7,465,000**	**10,879,512**	**-3,414,512**	
学術集会収入	6,050,000	9,711,012	-3,661,012	第24回学術集会
CTGセミナー	500,000	824,000	-324,000	CTGセミナー参加費収入
GDMセミナー	600,000	247,500	352,500	GDMセミナー参加費収入
WHCセミナー	155,000	0	155,000	WHCセミナー実施なし
学術支援セミナー	20,000	33,000	-13,000	学術支援セミナー参加費収入
TSUMUGU会	140,000	64,000	76,000	第5・6回TSUMUGU会参加費収入
雑収入	**4,500**	**113,262**	**-108,762**	
受取利息	500	32	468	
雑収入	0	99,614	-99,614	2021年度研究助成金残金返金
抄録利用料	4,000	13,616	-9,616	
経常収益計	**13,513,500**	**17,186,774**	**-3,673,274**	
2.経常費用				
事業費支出				
編集委員会	933,000	707,566	225,434	
広報委員会	160,000	143,330	16,670	
研究促進委員会	609,692	317,114	292,578	
学術支援委員会	291,000	184,465	106,535	
生涯学習支援委員会	1,120,000	382,267	737,733	
[CTGセミナー]	370,000	162,750	207,250	
[GDMセミナー]	600,000	219,517	380,483	
[WHCセミナー]	150,000	0	150,000	実施なし
看護政策検討委員会	10,400	0	10,400	
高度実践看護推進委員会	280,556	203,229	77,327	
総務委員会	220,000	145,113	74,887	
[災害対応部会]	10,000	0	10,000	
[将来構想部会]	210,000	145,113	64,887	
利益相反委員会	22,500	24,750	-2,250	
学術集会	6,550,000	6,396,849	153,151	第24回学術集会
事業費支出　合計	**10,197,148**	**8,504,683**	**1,692,465**	
管理費支出				
総務・渉外・会計	4,330,000	3,375,204	954,796	
管理費支出　合計	**4,330,000**	**3,375,204**	**954,796**	
周年記念事業積み立て	150,000	（決算科目としては不使用）		
予備費	500,000	（決算科目としては不使用）		
経常費用計	**15,177,148**	**11,879,887**	**3,297,261**	
当期経常増減額	**-1,663,648**	**5,306,887**	**-6,970,535**	
当期正味財産増減額	**-1,663,648**	**5,306,887**		
正味財産期首残高	**33,944,396**	**33,944,396**		
正味財産期末残高	**32,280,748**	**39,251,283**		

監 査 報 告 書

一般社団法人　日本母性看護学会
理事長　石井　邦子　殿

２０２３年5月１８日
一般社団法人　日本母性看護学会

監事　島袋　香子

監事　髙橋　真理

当学会の２０２２年4月１日から２０２３年3月３１日までの２０２２年度決算報告に係る計算書類及びその付属明細書並びに財産目録等について監査を行いましたので、以下の通りご報告いたします。

１．監査の方法及びその内容

理事及び事務局等と意思疎通を図り、理事会その他の重要な会議に出席し、学会諸事業の情報の収集に努め、２０２３年５月１８日、当学会事務局において会計帳簿及びこれに付随する資料について報告・説明を受けるとともに、内容の確認を行いました。

以上の方法によって、当該年度の決算報告に係る計算書類及びその付属明細書並びに財産目録等について監査いたしました。

２．監査の結果

２０２２年度決算報告に係る計算書類及びその付属明細書並びに財産目録等は、当学会の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に表示しているものと認めます。

３．監査意見

今期も新型コロナ禍の逆境にもかかわらず、オンライン学術集会の成功やオンライン会議による費用削減で500万円ほどの収益が上がっています。今後もこれらの収益については、引き続き会員サービスの利便向上、会員向け事業の拡充等、活用計画や基金財源化等について継続した策定実施を期待いたします。

以上

第 2 号議案　　2023-2024 年度役員の承認

■理事（選挙選出）

氏名	所属先名
跡上　富美	久留米大学
新井　陽子	群馬大学
石井　邦子	千葉県立保健医療大学
大月　恵理子	順天堂大学
大平　光子	周南公立大学
香取　洋子	北里大学
工藤　美子	兵庫県立大学
坂上　明子	武蔵野大学
長坂　桂子	西武文理大学
中村　康香	東北大学
成田　伸	自治医科大学
長谷川　ともみ	富山大学
福島　裕子	岩手県立大学
松原　まなみ	朝日大学
吉沢　豊予子	関西国際大学

■理事（推薦）

氏名	所属先名
浅野　浩子	武庫川女子大学
角川　志穂	自治医科大学
常田　裕子	京都大学大学院
山田　加奈子	大阪公立大学大学院

■監事

氏名	所属先名
遠藤　俊子	大阪信愛学院大学
島袋　香子	北里大学

（五十音順）